2018年度 学会発表(症例報告は除く)

番号	氏名	発表課題名	学会名(場所•年月)
1	<u>Yoko Kataoka,</u> Rai Fujimoto, Hiroko Kishida, Kyoko Tonomura, Sachiko Sakamoto, Eriko Yoshioka, Emi Kosugi, Eisuke Okuda, Norihito Iba, Ayaki Shigyo	Predictive Factors for Successful Long-term Control of "Refractory" Adult Atopic Dermatitis by Biomarker-guided Tight Control Strategy	10th George Rajka international symposium on
2	Rai Fujimoto, <u>Yoko Kataoka</u> , Hiroko Kishida, Sachiko Sakamoto, Ayaki Shigyo, Eriko Yoshioka, Kyoko Tonomura , Eisuke Okuda, K.I.Izuhara	THE USEFULNESS OF SCCA2 AND PERIOSTIN AS CLINICAL BIOMARKERS FOR SEVERE ADULT ATOPIC DERMATITIS	10th George Rajka international symposium on Atopic Dermatitis, Utrecht (April 11–13, 2018)
3	片岡葉子	あなたのプロアクティブ療法正しいですか?	第34回日本臨床皮膚科医会総会·臨床学術大会, 仙台市(2018.4.28-29)
4	神谷 香、岸田 寛子、片岡 葉子	間質性肺炎を併存する多形慢性痒疹?	第225回大阪皮膚科症例検討会,大阪市 (2018.5.24)
5	片岡葉子	Proactive療法でここまで治せます!〜治療の ゴール到達への8つのコツ〜	第117回日本皮膚科学会総会, 広島市 (2018.5.31-6.3)
6	<u>片岡葉子"</u> , 椛島健治", 秀道広", 加藤 則人4, 佐伯秀久 ⁵ , 川島眞 ⁶ , 藤田浩 之", 有馬和彦", G.Pirozzi", M.Ardeleanu ⁸ (大阪はびきの医療セン ター", 京都大学 ² , 広島大学 ³ , 京都府 立医科大学 ⁴ , 日本医科大学 ⁵ , 東京女 子医科大学 ⁶ , サノフィ", リジェネロン ⁸⁾	成人アトピー性皮膚炎患者に対するDupilumabの 国際共同第Ⅲ相試験(SOLO1): 日本人部分集団 解析	第117回日本皮膚科学会総会, 広島市 (2018.5.31-6.3)
7	片岡葉子	アトピー性皮膚炎のprecision medicine事始	第67回日本アレルギー学会学術大会, 千葉市 (2018.6.22-24)
	藤本雷,片岡葉子,岸田寛子,出原賢治',外村香子(佐賀大学')	血清SCCA2(S)は重症成人アトピー性皮膚炎 (AD)tight controlの予後予測バイオマーカーとなるか	第67回日本アレルギー学会学術大会, 千葉市 (2018.6.22-24)
9	片岡葉子	長期寛解をめざすアトピー性皮膚炎の治療:抗炎症薬物療法の変遷とDupilumabによるブレイクスルー	第69回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 大阪市(2018.10.27-28)
10	Rai Fujimoto	A skin prick test using heat-processed prawn is useful for diagnosis of food-dependent exercise-induced anaphylaxis (FDEIA) due to prawn.	Food Allergy and Anaphylaxis Meeting EACI,Copenhagen, Denmark (18 – 20 October 2018)
11	片岡葉子	アトピー性皮膚炎 : Tight controlの意義・方法とDupilumabの位置づけ	第48回日本皮膚免疫アレルギー学会総会 学術大会, 奈良市(2018.11.16-18)
12	藤本雷, 岸田寛子, 片岡葉子, 出原賢治', 外村香子 ² , 小野純也 ³ , 東義則 ³ (佐賀大学 ¹⁾ , 大阪大学 ² , シノテスト ³)	アトピー性皮膚炎におけるペリオスチン、 SCCA2の予後予測因子としての有用性の検 討	第48回日本皮膚免疫アレルギー学会総会 学術大会, 奈良市(2018.11.16-18)
	片岡葉子, 加藤則人 ¹ , 佐伯秀久 ² ¹ , 江藤隆史 ³ , 手良向聡 ⁴ , 藤田浩 之 ⁵ , 高木弘毅 ⁵ , 田嶋雄樹 ⁵ , 島崎 達也 ⁵ , 有馬和彦 ⁵ (京都府立医科 大学 ¹ , 日本医科大学 ² , 東京逓信 病院 ³ , 京都府立医科大学生物統 計学 ⁴ , サノフィ株式会社 ⁵	中等症~重症アトピー性皮膚炎成人患者の 長期前向き疾患観察研究:6カ月中間解析報 告	第48回日本皮膚免疫アレルギー学会総会 学術大会, 奈良市(2018.11.16-18)

2018年度 学会発表(症例報告は除く)

番号	氏名	発表課題名	学会名(場所・年月)
14	藤本雷、神谷香、坂本幸子、岸田 寛子、執行彩希、片岡葉子	重症難治性成人アトピー性皮膚炎に対する Dupilumabの効果 -投与開始後4か月以上経過した患者25例の 評価-	第82回臨床アレルギー研究会(関西), 大阪市(2018.11.24)
15	片岡葉子	小児難治性アトピー性皮膚炎の治療	第5回総合アレルギー講習会, 大阪市 (2018.12.15-16)
16	片岡葉子	基調講演 プロフェッショナル ステロイド外用 療法	第24回アトピー性皮膚炎治療研究会シンポシ゚ ウム, 大分市(2019.2.16-17)
17	片岡葉子	アトピー性皮膚炎診療:治療のゴール到達を 妨げる4つのpitfalls	1回日本アレルギー学会地方会近畿支部学 術講演会, 大阪市(2019.3.9)
18	片岡葉子	蕁麻疹の病型分類と抗ヒスタミン薬の意義	第1回日本アレルギー学会地方会近畿支部 学術講演会, 大阪市(2019.3.9)